

平成 26 年度 実施事業の概要

教育事業名: 妙高ネイチャープログラム指導者養成研修①・スキルアップ研修②
期間 ①平成26年 6月20日(金)～6月22日(日) ①平成27年 1月18日(日) ②平成26年 5月18日(日)
対象及び参加人数: 大学生 学校教員 その他 ①6月 23名 ①1月 17名 ② 16名
目的: 環境教育等についての講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、自然体験の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指す。併せて自然の家周辺の自然環境を活用した環境教育や問題解決学習を指導する研修指導員を養成する。 また、有指導資格者に対してのスキルアップ研修(新規)を実施することで、より利用団体のニーズに対応した指導や、各自に指導力向上を図ることをねらいとする。
事業概要: 環境教育等についての講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、環境教育の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指す。併せて自然の家周辺の自然体験を活用した環境教育や問題解決学習を指導する研修指導員を養成する。冬季は、スノーシューハイクを加え、研修の充実を図った。 スキルアップ研修(新規)では、現指導者に対して、新コースの実体験や、源流探険コース整備作業を行った。
成果: 昨年度の実績や反省を踏まえて、妙高ネイチャープログラムの講師依頼や利用ニーズが多い、学校団体の利用を想定して、研修会を企画した。指導者にも、学校の児童生徒の利用を対象とした子供理解に関する内容を研修に含ませたため、研修目的のはっきりとした研修会となった。また、利用者である学校教員と自然体験指導者が同じ受講生として交流をすることとなり、情報交換の場が生まれた。 新設のスキルアップ研修では、利用団体の多様なニーズに対応するために開発した、新源流探険コースについて開削・整備作業を行った。また、作業をしながらの情報交換で、新コースを活用した指導のあり方について検討を加えることが出来た。
課題: 利用者アンケートでは他のプログラムの受講希望も少なくない。様々ある妙高ネイチャープログラムについて、現在は利用頻度の多いプログラムに絞って毎年同じ内容の講習を企画しているが、そのことから、研修内容(研修会で実施するプログラム)について、どのように設定していくか、検討が必要である。 今年度から開催したスキルアップ研修会ではおおむね好評であったが、受け身(講師から話を聞くのみ)では効果が薄いのではないかという意見があった。そのため、次年度以降は、一部、参加型、協働型研修や、実際の指導場面の交流などを取り入れていくことが必要である。